

令和3年度の決算と市の財政状況を示す指標を公表します

三島市の財政状況

市民の皆さんに納めていただいた税金の使い道や、市の財政状況を毎年6月と12月に公表しています。

令和3年度の一般会計は、当初361億9千万円で出発しましたが、子育て世帯臨時特別給付金等給付事業や、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業、新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業の計上など新型コロナウイルス入感染症関連の補正と、前年度からの繰越事業を含め、最終予算は448億3513万円となりました。

決算額は、収入額が433億6644万円、支出額が411億8894万円であり、ここから翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支額は、20億9999万円の黒字となっています。決算額を前年度と比べますと、収入は15.7%、支出は18.0%それぞれ減少となりました。

問合せ 財政課 ☎9833・2622

用語の説明

一般会計 市が行う仕事の大部分を賄う予算で、市税や国・県からの支出金などを財源にしているものです。市民の皆さんに最もかわりやすい予算と言えます。

特別会計・公営企業会計 特定の事業を行う場合や、特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置します。三島市では、国民健康保険事業など

7つの会計があります。この中で水道事業会計、下水道事業会計は企業会計方式を用い、独立採算制で事業・経理を行っています。

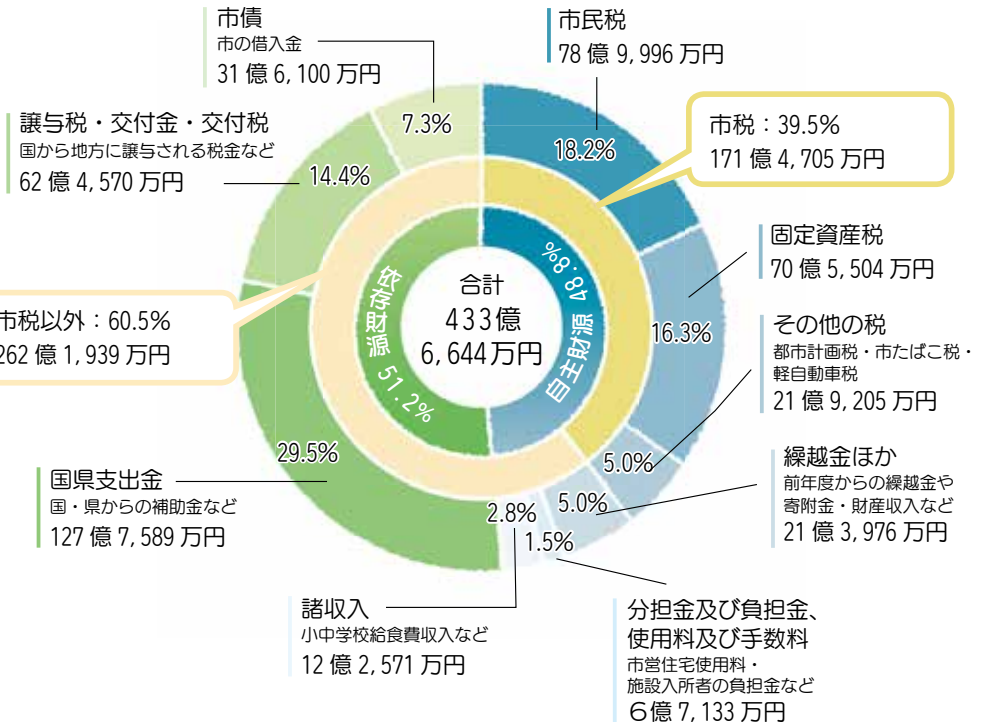
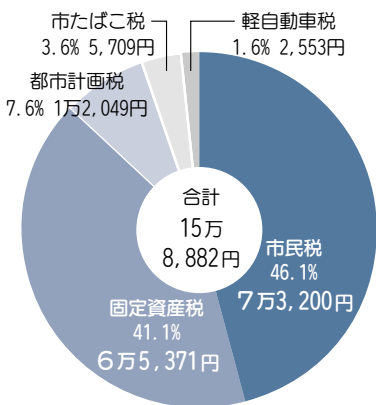
市税 地方税法により、市民税、固定資産税、軽自動車税などが定められています。

臨時財政対策債 地方の財源不足に対処するため、特例として発行される市債です。返済は、後年度の地方交付税で全額措置されます。

一般会計：歳入

市税収入を市民1人あたりに換算

市の収入の約40%は、市民や企業の方から納めていただく税金などで賄われています。



※掲載している市民1人あたりに換算した金額は、令和4年3月31日現在の人口10万7,923人で算出しています。

令和3年度の主な事業

- ガーデンシティみしま推進事業
- 三島駅南口東街区再開発事業
- 企業立地推進事業
- 橋梁整備事業
- スマートウエルネスみしま推進事業
- 学校におけるICT環境整備事業
- リカレント教育推進事業
- 発達支援相談事業
- 児童福祉施設整備費補助金
- 社会福祉施設整備費等補助金
- 消防ポンプ自動車等更新事業
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業など

■特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	112億7,107万円	111億5,021万円
介護保険	86億1,729万円	84億 475万円
後期高齢者医療	15億 628万円	15億 347万円
墓園事業	1,805万円	648万円
駐車場事業	1億4,581万円	1億3,133万円
合計	215億5,850万円	211億9,624万円

■水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的収支	15億4,893万円	13億2,285万円
資本的収支	2億9,018万円	7億9,651万円

■下水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的収支	22億4,385万円	22億3,292万円
資本的収支	13億7,658万円	20億9,498万円

■市債（借りているお金）の年度末現在高

区分	市債現在高	
一般会計	教育施設	68億4,774万円
	土木施設	99億4,074万円
	清掃衛生施設	15億3,152万円
	公営住宅施設	15億1,805万円
	福祉施設	10億9,558万円
	臨時財政対策債ほか	189億7,498万円
	一般会計合計	399億 861万円
公営企業会計	水道事業	42億3,537万円
	下水道事業	167億2,792万円
	公営企業会計合計	209億6,329万円



▲新型コロナウイルスワクチン接種では、医療スタッフが被接種者のいる各ブースを巡回する「三島モデル」での接種も実施

一般会計：歳出

歳出を市民1人あたりに換算

市税収入の2倍以上、38万1,651円が支出されました。納めていただいた15万8,882円の税金と国や県からの補助金などを活用し、行政サービス(支出)を提供しています。

